

第3回 氷見市総合計画審議会 会議録	
日 時	令和3年4月23日（金） 13時30分から15時30分まで
場 所	氷見市ふれあいスポーツセンター 会議室
出席者	委 員 伊藤宣良、上田兵吾、大嶋充、角谷禎成、河上昌俊、川田文人、菊川昌彦、草島すなお、越坂裕子、佐伯三美子（代理：柿谷）、高木陽子、高木義則、高嶋達（代理：七分）、釣谷聡、寺下利宏、中村和之、中村剛、西川扇博、野畑圭造、松波久善、松原勝久、森本太郎（代理：井野）、吉崎一美、脇信昭（出席24名）（欠席5名：尾畑納子、河原朱里、坂下明生、清水賢一、西山知克）
	市関係職員等 林市長 策定委員会委員（篠田副市長、鎌仲教育長、藤澤政策統括監、東軒企画政策部長、森田総務部長、新井市民部長、森川産業振興部長、釣賀建設部長、石田防災・危機管理監、高田会計管理者、泉澤教育次長） 事務局（高野地方創生推進課長、尾山同課長補佐、塩津同課主査、大石同課主任、檜垣同課主事、屋敷同課主事）
次 第	1 開 会 2 会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 議事 （1）副会長の選出について （2）第2部会長の選出について （3）第9次氷見市総合計画策定の今後のスケジュール（案）について （4）第9次氷見市総合計画基本構想（案）について 5 閉 会
資 料	【説明資料】 資料1 氷見市総合計画審議会委員名簿 資料2 氷見市総合計画審議会部会名簿 資料3 氷見市総合計画策定の今後のスケジュール（案）について 資料4 第9次氷見市総合計画基本構想（案）概要 資料5 第9次氷見市総合計画基本構想（案） 【参考資料】 参考資料1 第2回氷見市総合計画審議会会議録 参考資料2 氷見市総合計画審議会条例 参考資料3 氷見市総合計画審議会部会設置要綱 参考資料4 氷見市総合計画策定委員会委員名簿

1 開 会

(司会)

本日は、お忙しい中お集まりいただき、誠にありがとうございます。

ただいまから、第3回氷見市総合計画審議会を開催する。本日の進行をつとめさせていただきます。

2 会長あいさつ

(司会)

初めに、会長からご挨拶申し上げます。

(会長)

先月に開催した第2回総合計画審議会では基本理念や目指す都市像などの基本構想(案)について、ご意見をいただいた。

本日は、これまでのご意見等を踏まえ、答申に向けた基本構想(案)について、審議することとしているので、忌憚のないご意見をいただきたいのでよろしくお願い申し上げます。

3 市長あいさつ

(司会)

次に、市長からご挨拶申し上げます。

(市長)

ご多用の中、氷見市総合計画審議会にご出席いただき、感謝申し上げます。

また、日頃から、市政の発展に格段のご支援、ご協力を賜り心から感謝申し上げます。

平成29年4月に多くの市民の皆様の温かいご理解とご支援をいただき市長に就任して以来、4年が経過し、今月7日に2期目の新しい任期がスタートした。

改めて、市民の皆様の期待の大きさ、責任の重大さに身の引き締まる思いをしており、今一度初心に帰り、全力で市政運営に当たってまいります。

また、市民の皆様が幸せに暮らせる氷見市をつくるためには、将来を見据え、これまでの歩みを止めることなく、「スピード感のある行政であること」、「市民の皆様との対話をもとに、政策を着実に実行すること」が重要であると考えている。

本日は、前回に引き続き、市民と市が目指す都市像とまちづくりの目標を定め、これを実現するために必要な施策の方向性を示す総合計画の土台となる基本構想(案)について、ご審議いただき、委員の皆様方には、忌憚のない建設的なご意見などを賜ることをお願い申し上げ、私のあいさつとする。

(事務局)

ここで、会議資料の確認をさせていただきます。

本日の会議資料は事前送付した右上の資料番号1から5まで、参考資料として1から4までとなる。

なお、誠に申し訳ないが、お手元に座席表のほかに、本日の次第、資料1、資料2と資料3を配付させていただいた。こちらは事前送付後に修正したものであるので、本日はこちらをご覧くださいようお願いします。資料の配布もれはなかったか。

初めに、委員の辞職についてご報告申し上げます。

令和3年4月19日付けで瀬戸委員から辞職の申出があった。事務局として、瀬戸委員から事情等をお伺いした結果、委員の御意思を尊重し、辞職を受理する。

次に、委員の交代について、報告する。

4月1日の人事異動により、富山県氷見警察署長の角谷様、富山県高岡農林振興センター所長の草島様、富山県高岡厚生センター氷見支所長の越坂様に新たにご出席いただいている。

また、氷見市自治振興委員連合会長の交代により、大嶋様に新たにご出席いただいている。

本来であれば、市長から委嘱書をお渡しすべきところではあるが、時間も限られているので、お手元に配布させていただいている委嘱書をもって委嘱に代えさせていただくこと、ご了解願う。

また、本日の審議会への出席について、佐伯委員の代理で柿谷様、高嶋委員の代理で七分様、森本委員の代理で井野様にご出席いただいている。

ご出席いただきました皆様方をご紹介すべきところではあるが、お手元の座席表、審議会委員名簿をもって紹介に代えさせていただくこと、ご了承願う。

また、4月1日付けの市の人事異動により、総合計画策定委員会の委員についても変更になっている。参考資料4として策定委員会委員名簿があるので、ご確認いただければと思う。

それでは、ここから先は、氷見市総合計画審議会条例第5条第1項の規定に基づき、会長に議事の進行をお願いする。中村会長よろしく願います。

4 議事

(1) 副議長の選出について

(会長)

まず、本審議会の委員は29名で、本日の出席委員は24名で、氷見市総合計画審議会条例第5条第2項に規定する会議開催の定足数16名を満たしていることを報告する。

それでは、議題1「副会長の選出について」であるが、事務局から説明願う。

(事務局)

氷見市自治振興委員連合会長の交代により、総合計画審議会委員の猶明副会長から大

嶋委員に交代されたため、今回新たに副会長を選出するものである。

参考資料2「氷見市総合計画審議会条例」をご覧ください。条例第4条第1項の規定では、本審議会の副会長各1名を委員の皆さま方で互選いただくことになっている。

(会長)

会長一任でよろしいか。

(拍手)

(会長)

それでは私案を提案させていただく。副会長には「氷見市自治振興委員連合会長の大嶋委員」を推薦する。皆様いかがか。

(拍手)

承認いただいたので、大嶋副会長には、副会長席にご移動をお願いします。

それでは、大嶋副会長から一言ご挨拶をお願いします。

(副会長)

こんにちは。今ほど紹介いただいた大嶋である。皆様のご協力、ご支援いただき就任させていただいた。ピンチヒッターになるが、しっかりと職を全うしたい。

(2) 第2部会長の選出について

(会長)

次に議題2「第2部会長の選出について」である。先ほど事務局から報告がありましたとおり瀬戸委員が総合計画審議会委員を辞職されたため、新たに第2部会長を選出するものである。

参考資料3の「氷見市総合計画審議会部会設置要綱」をご覧ください。要綱第3条第2項では、「部会長、副部会長及び部会委員は、会長が指名した委員をもって構成する。」と規定されている。

ここで、私から第2部会長を指名させていただく。大嶋副会長に第2部会に参加いただき、部会長をお願いしたい。大嶋副会長いかがか。

承諾いただいたので、第2部会長には、大嶋副会長をお願いします。

(3) 第9次氷見市総合計画策定の今後のスケジュール(案)について

(会長)

それでは、議題3「第9次氷見市総合計画策定の今後のスケジュール(案)について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(「資料2 第9次氷見市総合計画策定の今後のスケジュール(案)について」を説明)

(会長)

それでは、委員の皆さまからご意見、ご質問があれば承りたいので、ご意見やご質問がある方は挙手をお願いします。

質疑もないので、第9次氷見市総合計画策定の今後のスケジュール(案)について、お諮りする。

総合計画策定までのスケジュールを可とすることに御異議ないか。

ただいま承認いただいた進め方に従い、今回は各部会に別れ、皆様のご意見をいただき、部会でのご意見を取りまとめたものを私と副会長、各部会長で協議して、基本構想の答申(案)を策定する。

なお、最終的に答申する第9次氷見市総合計画基本構想について、私にご一任いただくことがあるかもしれないが、その際はよろしくをお願いします。

(4) 第9次氷見市総合計画基本構想(案)について

(会長)

それでは、議題4「第9次氷見市総合計画基本構想(案)について」、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

(「資料3 第9次氷見市総合計画基本構想(案)概要版」、
「資料4 第9次氷見市総合計画基本構想(案)」を説明)

(会長)

それでは、委員の皆さまからご意見、ご質問があれば承りたいので、ご意見やご質問がある方は挙手をお願いします。

できるだけ多くの皆様からご意見を頂きたいと考えている。

ご意見、ご質問をどなたからでも結構ですので、ご発言をお願いします。

(委員)

2040年に人口が29,000人になってしまうので、30,000人台にしたいということだが、表現だけで具体的な策がふれられていないので、記載する必要があるのではないか。

(会長)

ありがとうございます。長期に見た場合に、人口減少というのは大きな課題であり、人口が減少しても幸せに暮らしていけるまちを目指す表現となっているが、人口減少を甘んじて受け入れるというわけではなく、人口減少を食いとめる。そういうことからいくと、ほとんどすべてに関わってきている。人口減少対策に特化した総合戦略と連携しながら、基本計画や実施計画で示していただきたい。

(委員)

育てたいまちの中で、子育てに関わる人が「氷見で子育てしてよかった」と感じという文章があるが、子育てしてよかったと思えるようにPTAは数年前から活動をしてきた。PTAでは、人と人との関り、孤独な親を作らないと子育てしてよかったと感じられるように活動してきて、PTAの活動が、子育て世代が氷見で住みたくなるようになっていくといいのではないかな。

(会長)

ありがとうございます。子育ては、ハードよりもソフトが大事である。氷見で子育てしてよかったとPTAが体感しているのであれば、どうやって周知していくかということについては、行政が担うことがあるかもしれないし、協働ということも考えられる。基本計画や実施計画で記載されてもよいのではないかな。

(委員)

第3章3 持続可能な循環型社会の構築の文章を膨らませたらいいのではないかな。言葉としては、ESGというフレーズを記載したらいいのではないかな。環境に関する言葉であるが、企業に対する投資基準があるなかで、世界基準の中で求められている。自治体においても、同様の考え方ができるのではないかと考える。SDGsの前段の考え方として取り入れてはいいかがか。

(会長)

ありがとうございます。企業や行政も含めて考えられるが、ESGは組織における環境、社会的責任、組織におけるガバナンスを注力しないといけない。そうしないと、投資家から投資してもらえない。今の潮流となっているので、氷見市としてどのように取り入れるのか、企業の取組をどのようにサポートするのかを持続可能な循環型社会の構築で取り上げ、働きたいまちにおいても関係してくるのではないかなと思うので、検討願う。

(委員)

ESGに加えて、ゼロカーボンシティの実現について記載されているが、先日総理が46%のCO₂の削減を国際的に公約された。それを受けて、2働きたいまち（5）エネルギーの地産地消や再生可能エネルギーの利用促進の中で、温室効果ガス削減対策を計画的に削減するという計画があるのであれば、スローガンとして削減目標を記載するのがいいのではないか。

時代の潮流の4 Society5.0 の実現の記載があるが、10年後を見据えるとDXの推進とした方が、いいのではないかと思う。働きたいまち（3）商工業の活力が持続・発展するまちの創造は、起業・創業について、強く打ち出してはどうか。多様な人材の才能を持った人たちが活躍できる環境整備を重点的にしたらどうか。大規模な製造業メーカーを誘致することは難しいので、域内において自分たちで産業を興すことに力をいれたらどうか。

（会長）

ありがとうございます。言葉には匂があると思いますので、Society5.0やDXの表現について、検討願う。働きたいまちにおける起業・創業について、企業を誘致してくることは大切なことであると思うが、活力を創出するうえで、どうやって育てていくのかを総合計画や個別計画などで検討していくことが考えられる。

（委員）

働きたいまちで、20代の若者の流出が多いことが課題であることがアンケートからわかったが、雇用をどうするかが一番大事ではないかと思っている。（3）商工業の活力が持続・発展するまちの創造の文中の前段が大切。（2）持続可能な農林水産業の振興とあるが、（2）と（3）を融合させ、6次産業化の素地があるので、そちらに力をいれていただければいいのではないか。（2）（3）（4）観光・交流の促進を一体的に、雇用を創出することが大切。第2章の氷見市の概要2自然・地域資源、3歴史・沿革のところをもう少ししっかり記載して、氷見市の優れたところを列記し、これをどのように発展させていくかを基本構想に示していく必要がある。

（会長）

ありがとうございます。1つは、農業にポテンシャルがあるので、そこを強化する必要があるのではないか。氷見市の地域としての強みをさらに書き込めることがあるのかを再度確認する。6次産業化という話があったが、情報技術を使った農業の推進を考えると、DXやSociety5.0につながっている。強みを明確にすることによって、氷見版のものができるのではないか。庁内で検討願う。

（委員）

2点気づいた点があったので、お話ししたい。1点目は、人口減少も含めて、少子高

齢化が進んでいる中、高齢化に着目すると高齢者同士の支援が大切になる。アンケートの中で、市民の役割の中で、高齢者支援が上位に来ているので、市民は、自分たちは自分たちで守らなければならないという意識の表れである。そこで、1 住みたいまち(2) 誰もが元気に過ごせるくらしの充実で、高齢者同士が互助、共助の地域包括ケアに関係する言葉を取り入れてはどうか。

2 つめは、安全・安心というところで、新型コロナウイルス感染症の記載について、一緒に考えていけたらと考えている。

(会長)

ありがとうございます。1 つは、高齢者のくらしを高齢者同士が支え合うことやつながりが市民の意識として高いので、もう少し記載してもいいのではないかと。基本計画や実施計画に反映していただくことが必要ではないかと。それから、新型コロナウイルスの関係についてであるが、対策が不明確であるため、表現がわかりづらくなっている。

(委員)

P 1 6 の総合計画と他の計画との関係における図中、総合計画の下に(国土強靱化に関する部分を除く)を記載してあるが、カッコ書きは記載しなくてもよいのではないかと。

(会長)

ありがとうございます。カッコ書きをとっても、表現的にとっても問題ないのではないかと。

(委員)

P 1 3 の5 観光交流・関係人口の拡大、P 2 1 (4) 観光・交流の促進において、観光については、地域間競争という表現は古い。2 0 1 7 年観光立国推進基本法に基づき、基本計画が策定されているが、その中では広域観光で地域間連携してくださいということになっている。氷見の中だけでは、観光が伸びないので、氷見に泊まって、海、山の幸を堪能してもらうことが、最高のおもてなしになるのではないかと。周辺地域等と氷見が連携した広域観光を進めてほしい。観光連携都市とした方が、周辺地域の観光情報が載せやすくなる。氷見を中心とした広域連携としていただきたい。

(会長)

ありがとうございます。広域連携や滞在型観光を中心とした記載にしたらどうか。氷見の魅力に磨きをかけていくということで、周遊型、滞在型の観光が打ち出せるようにすればよいのではないかと。

(委員)

子育て世代で、第2子以降が無償化で助かっている。今の若い人は、核家族なので、保育サービスの充実を図り、アピールできると若い世代の定着につながる。政策に盛り込めたらいいのではないか。企業と連携して、男性の育休の推進や取得できる環境整備をしてほしい。

(会長)

ありがとうございます。地域づくりや働くことに関係している。安心して働ける場所があって、雇用が充実し、企業の経済活動が活発になる。

(委員)

(2) 持続可能な農林水産業の振興において、魅力的で力強い産業という表現を見直した方がいい。人口減少と言われているが、いろいろな方が農業をしに氷見市にきている。若手農業者が増えてきており、そういった方たちと市などと懇談会をしたいと考えている。

(会長)

ありがとうございます。意見交換をして、具体的な取組を進めてくことにつなげてほしい。働きたいまちの中で、産業振興という点では、担い手が一番重要になるので、少トレンドが変わりつつあるということで、需要の面でも産業振興は大切で、どのようにして拡大していくかを具体化していくことが必要である。

(委員)

高齢者がどうイメージするかが難しい。高齢者が元気で健康のイメージはどのようなものか。今まで、おじいちゃん、おばあちゃんがいて、子どもがよそにいて、夫婦とおじいちゃん、おばあちゃんに住んでいる家族が増えている。氷見市の社会でどのように捉えているか。例えば、施設にいれることがいいのか、健康な高齢者が増えて、生産力、何か作り出せるような社会的な位置づけを考えていければいいと思うが、難しい。若い人たちや働き手が増えることがいいのは皆同じであると思うが、若い人にとって安心した同居になることがいいことである。全体として何かイメージできるようなものがあるといいのではないか。

(会長)

ありがとうございます。人口減少・少子高齢化社会におけるあり方について、どのようにあるべきか。家族構成や社会でのあり方について、正解はないので、ひとつひとつ試みるしかない。制約はあるかもしれないが、いろいろなことにチャレンジできるよう

に個別計画等に反映していただきたい。

(委員)

高齢者を含めてこれからどのように支え合うのかということで、5年ほど前に閣議決定された一億総活躍プランの中で、地域共生社会の実現が出てきた中で、基本構想の中で、共生という言葉がでてきており、一番大事なのは地域力の強化であると思う。4市民とともにつくる持続可能なまち(1)市民主体のまちづくりにおいて、市民自らが地域について考え、行動する機運を醸成するとともに、と記載されていたり、5横断的に推進するもの(3)多様な人材の活躍推進で、地域の課題の解決に向けて、地域に関わる一人ひとりが地域の担い手として自ら積極的に参画できるよう、多様な人々が活躍できる環境づくりを積極的に進めますと記載されている。このようなことが総合計画の中で、具体化させてほしい。

(会長)

ありがとうございます。非常に大切なことであることから、総合計画基本構想を踏まえて、基本計画、実施計画につなげていく必要がある。

(委員)

3育てたいまち(4)心豊かでゆとりある学びの充実において、図書館・博物館等の生涯学習施設の充実を図る中で、元気な高齢者がたくさんいるので、伝承の場、施設があるといいのではないかと。

(会長)

ありがとうございます。場所、伝える人あわせて活動を支えられているので、いろいろな制約があるなかで、何ができるのか。行政だけでなく、活動している人との協働が大切である。

(委員)

(4)心豊かでゆとりある学びの充実で、スポーツ施設の改修より、スポーツ施設の充実に修正しては、どうか。また、競技水準より、競技力とした方がいいのではないかと。

(会長)

委員の皆さまには大変貴重なご意見を賜りましてありがとうございました。

先ほど承認いただいたとおり、次回は部会に分かれて、議論を進めていただきたいと考えているので、よろしく願います。

以上で本日予定しておりました議事は終了した。委員の皆さま方には長時間にわたり、

議事の進行にご協力いただき感謝申し上げます。

それでは、この後の進行は事務局にお任せする。

(事務局)

ありがとうございました。今後の日程についてご連絡する。

閉会にあたりまして、市長より皆様にご挨拶する。

(市長)

本日は、長時間に渡り貴重なご意見を頂き、感謝申し上げます。

総合計画は10年計画になるので、10年先を見越して、委員の皆様から貴重な意見をいただいたところである。各部会において、本日いただいた意見を反映させたもので、さらに各部会において意見をいただければ幸いである。本日は、春先のお忙しいところお集まりいただき、誠にありがとうございました。

(事務局)

以上を持ちまして、第3回氷見市総合計画審議会を閉会する。皆様方、どうもありがとうございました。